

■金剛地区再生指針 ～市の他計画との関連性について①～



市計画の関係図
(イメージ)

第4次市総合計画
↓↓↓
市総合ビジョン
(H29年3月策定予定)

※個別(分野別)の計画や施策の基本となる最上位計画。

各計画等の策定に際し、相互に整合が図れるよう、関係部署間の調整を行う。

即す

下支え

(分野別計画)

- ・市人口ビジョン(H28年3月策定)
- ・市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H28年3月策定)
- ・市公共施設等総合管理計画(H28年3月策定)
- ・市金剛地区再生指針(H29年3月策定予定)
- ⋮
- その他諸計画

整合

資料4

1

■金剛地区再生指針 ～市の他計画との関連性について②～



○人口ビジョン(H28年3月策定)

⇒これまでの人口動向を基に、H72(2060年)までの将来人口推計・将来人口シミュレーションによる将来人口の展望に基づく、目指すべきまちづくりの方向性を示す。

※今後、市計画等策定の際の基礎となるビジョン。

将来人口推計 H37(2025年)に104,916人、H52(2040年)に86,246人まで減少。

※修正コーホート法による将来人口推計。

将来人口シミュレーション H37(2025年)に111,905人、H52(2040年)に104,540人を維持できるとされている。

※国の長期ビジョン等を踏まえ、合計特殊出生率の向上や、社会減の抑止を仮定したシミュレーション人口。

■目指すべき方向性 → 積極戦略と調整戦略を同時に推進。

- ①若い世代の子育て・定住の場としてのまちづくり【積極】
- ②まちなぎわいと雇用を支える経済基盤の強化【積極】
- ③人口減少・高齢化に対応した時代にあったまちづくり【調整】

2

○市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H28年3月策定)

⇒市人口ビジョンにおける人口の将来展望の実現に向け、H31(2019年)までの5か年に取り組むべき施策を示す。

市人口ビジョンの3つの方向性を踏まえ、6つの基本目標を設定。

■ 6つの基本目標

- ①新しい人の流れをつくる
- ②若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
- ③安定した雇用を創出するとともに、地域経済を活性化する
- ④多くの人を訪れるまちの魅力を創出する
- ⑤時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る
- ⑥行政運営の効率化を図る

■ 主な取り組み

- ⑤; 地域の実情に応じた地域再生・活性化支援＝【金剛地区再生指針】
- ⑥; 公共建築物やインフラの総量や配置の適正化
＝【公共施設等総合管理計画】

3

○市公共施設等総合管理計画(H28年3月策定)

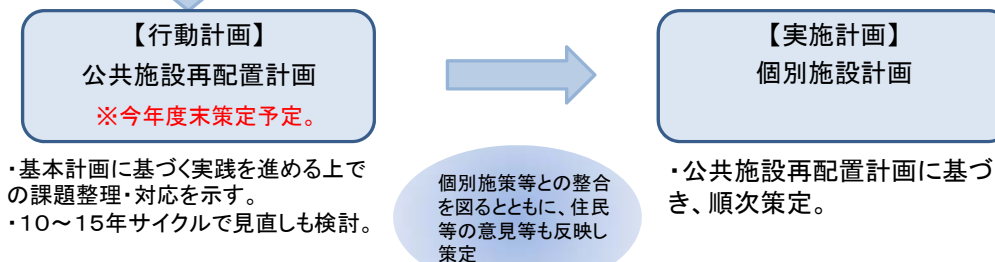
⇒社会経済情勢の変化への対応や持続可能な財政運営を図るため、公共施設等の総合的・計画的な整備・管理「公共施設マネジメント」を推進するための2040年までの基本計画。

市人口ビジョンによる将来人口予想、市を取り巻く状況等を鑑み、公共施設等の基本的な方向性を示す。

■ 3つの基本方針

- ①総量の最適化
- ②長寿命化
- ③ライフサイクルコストの削減

計画の体系



4

※インフラ整備については、公共施設再配置計画とは別に各個別計画を策定。